



碧南ロータリークラブ週報

第3033回例会 令和4年11月9日(水)

- 会長 長田 和徳
- 幹事 清澤 聡之
- 会場監督(SAA) 縦山 朋久

2022-2023 年度 国際ロータリーのテーマ

- 例会日 毎週水曜日 12:30
- 例会場 碧南商工会議所ホール
- 事務局 碧南商工会議所内 〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町 90
- TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100
- ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp>
- E-mail: info@hekinan-rc.jp



- 会報委員 鈴木 洋・長田一希・杉浦保子

●本日のお弁当

大正館

●本日のお客様

地区補助金委員会 委員長 藤原直子様 (名古屋名東RC)

会 長 挨拶

皆さん、こんにちは。

連日、秋晴れが続いております、少しコロナも収まってきたもんですから、皆さんも旅行等に行かれてるんじゃないかと思っております。

実は11月1日に私は碧南商工会議所の会頭に就任させていただきました。前会長の鈴木並生さんには色々と勉強させていただきました。ロータリーの諸先輩方の名に恥じぬように頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

今年の9月に日本商工会議所の100周年記念式典が開催されまして、ロータリーも100周年を迎えたばかりです。先日も少し話しましたが、100年前の1922年はどんな年だったのかということで、色々と調べてみました。

100年前は丁度、大正デモクラシーの頃でした。第一次世界大戦もスペイン風邪の大流行から終戦になって、戦火のなかった日本はかなりの好景気が続き、個人所得が上昇した時代でもあります。また、1922年にはソビエト連邦が成立し、共産主義が始まった年でもあります。翌年の1923年には関東大震災が起きて、東京では10万人も死者が出て、復興の際にロータリー活動が本格化したと聞いております。1924年には初めて普通選挙が行われました。ですから、明治時代というのは旧長州藩薩摩藩が交互に総理大臣をやっていたので、まだまだ民主主義とは言えない時代でした。1928年には大恐慌が起きて、大赤字で沢山の会社がな



長田和徳会長

くなって、失業者が増えて、需要と供給のバランスを保たなければいけないということで、海外に物を売る為に日本が進出して、戦争になってしまったという形になっております。

今からの 100 年間、どういう時代になるのでしょうか？もしかしたら、今年は新しい時代の幕開けかもしれませんが、世界を見ていると紛争も続いているし、大国の覇権主義が目立っているのを見ていると、歴史は繰り返しているのかもしれませんが。

本日は「ロータリー財団を活用しよう」ということで、地区補助金委員会の藤野委員長からお話をいただきますので、よろしくお願い致します。

幹 事 報 告

幹事報告を申し上げます。

- ・ 第 4 回理事会報告につきましては、幹事報告書の通りでございます。
- ・ ロータリーレート変更のお知らせです。現行 1 ドル 145 円から 148 円になりました。
- ・ ガバナー月信 11 月号掲載のお知らせが届いております。
- ・ ガバナー事務所より、ガバナー公式訪問終了のお礼状が届いております。
- ・ ガバナー事務所より「ガバナーノミニーマニーマニ・デジグネート（2025-26 年度ガバナー）選出のご報告」が届いております。
- ・ 11 月 13 日（日）に地区大会が開催されます。ご出席の方はよろしくお願い致します。
- ・ 本日の例会終了後に理事会を開催致しますので、該当会員の方はよろしくお願い致します。



清澤聡之幹事

委 員 会 報 告

<出席奨励ニコボックス委員会>

総会員数 60 名（内出席免除者 15 名の内出席者 10 名）出席者 45 名	
出席対象者 45 / 55 名	出席率 81.82%
欠席者 15 名（病欠者 1 名）	

<ニコボックス>

地区補助金委員会 委員長 藤原直子様 本日、ロータリー財団の卓話で伺いました。宜しくお願い申し上げます。

長田 和徳君 このたび、碧南商工会議所会頭に就任しました。よろしくお願い致します。

新美 雅浩君 昨日、結婚 35 周年を迎え、日頃からお世話をいただいている家内に「サングゴ婚式」の区切りでコーラルカラーのプリザーブドフラワーを贈りました。当面はこれで関係が長持ちします。

鈴木 並生君 10 月末日をもって商工会議所会頭を退任しました。在任中に皆様方に大

変お世話になりありがとうございました。後任の長田新会頭をご支援よろしくお願ひします。

長田 豊治君 先日、日本商工会議所 会頭 三村明夫さんの感謝状を長田和徳新会頭から頂きました。有難うございました。

山中 寛紀君 ①本日のゲストスピーカー、名古屋名東ロータリークラブ藤野様の紹介をさせていただきます。

②この記録的円安の中、多大なるご支援を頂いた今年度のポールハリス並びにベネファクターの会員の皆さまに心より厚く御礼申し上げます。

鈴木 泰博君 11月1日、碧南商工会議所副会頭に就任いたしました。今後ともみなさまのご指導をお願いします。

<親睦活動委員会>

会員誕生日

12日 吉田 弘君 15日 杉浦 邦彦君 20日 森田 英治君
21日 石川 鋼勇君 27日 奥田 雪雄君 (傘寿)
29日 竹中 誠君

奥様誕生日

20日 木村 徳雄君の奥様 小百合様

結婚記念日

5日 杉浦 保子君・義己様 44年 8日 新美 雅浩君・美由紀様 35年
10日 宮地 秀夫君・陽子様 37年 10日 鉄村 良朗君・ゆかり様 26年
22日 黒田 哲郎君・杏様 3年 26日 角谷 圭祐君・倫子様 40年

入会記念日

4日 植松 敏樹君

クラブフォーラム

「ロータリー財団を活用しよう」

地区補助金委員会 委員長 藤野直子様



藤野直子様

皆様、改めまして、こんにちは。

ご紹介賜りまして、ありがとうございます。名古屋名東 RC から地区に出向しております藤野直子と申します。現在、補助金委員会の委員長という大役を仰せつかっております。皆様方の地区での様々な奉仕活動のバックアップや支援をさせていただいております。今日は大変貴重なお時間を頂戴致しまして、財団についてのお話をさせていただきますこと、まずは高い席からではございますけれども、心から御礼を申し上げ

ます。

ロータリーに入られて数年の方はどれくらいいらっしゃいますでしょうか？ベテランの方々はロータリー財団の話は何度もお聞きになっているかと思えますけれども、ロータリー財団も色々と変化をしております。地区の方もより公平性を高めて、より明確にする為にといいことで、今年から地区の補助金のルールやグローバル補助金のルールなども変更致しました。その辺りのことも含めまして、ロータリー歴の浅い方、ベテランの方にもお耳を傾けていただければ幸いです。

1917年6月18日にアメリカのジョージア州アトランタで開かれました第8回のロータリー一年次大会で、当時の会長でいらっしゃいましたアーチ・克蘭フが「世界でよいことをする為の基金を作るのが極めて大事だろう」ということを発表されました。そして、その1ヶ月後に寄せられたたった26ドル50セントという原資をもととして、ロータリー財団が生まれました。人々の健康状態を改善して、教育への支援を高め、貧困を救済することがロータリー財団の使命でございます。

今日は皆様方によくご理解いただけるように4つのお願い事項という形でまとめてまいりました。

1. 寄付のお願い（資金推進委員会・ポリオプラス／職業研修委員会より）
2. 補助金活用のお願い（補助金委員会より）
3. 奨学生紹介のお願い（グローバル奨学生・平和フェロー委員会より）
4. ロータリーカード入会のお願い（資金推進委員会より）

この4つのお願いという括りでお話をさせていただきます。

1つ目は寄付のお願いでございます。RIはどうやって運営をしているのかと言いますと、ロータリアンからの会費で賄っております。ロータリアンの会費からRIへ人頭分担金ということで、毎年70ドルずつ払っていただいております。その人頭分担金でRIは運営しておりますが、ロータリー財団はロータリアンからの寄付で運営しております。寄付以外は一切ありませんので、ロータリアンからの寄付でロータリー財団は賄っております。

寄付の分類は年次基金、ロータリー災害救援基金、ポリオプラス、恒久基金、その他の基金というふうに分かれております。2022-23年度の地区の財団寄付目標として、年次基金は1人当たり150ドル以上、ポリオプラスは1人当たり30ドル以上をお願いしております。恒久基金はクラブでベネファクター1名または1,000ドル以上をお願いしております。大口寄付は地区で5名以上を目標としております。ポール・ハリス・ソサエティは地区で新規入会者5名以上を目標としております。碧南RCの2021-22年度の寄付額ですが、年次基金は1人当たり142.93ドル、ポリオプラスは1人当たり30ドル、恒久基金はクラブで0ドルということで、今年度は目標額以上のご寄付をよろしくお願い致します。

2つ目は補助金活用でございます。補助金には地区補助金とグローバル補助金の2種類がございます。この2種類の補助金をお使いいただく為には「地区とクラブの覚書」というものを交わしていただきます。そして、「授与と受諾の条件」という冊子がございますので、会長・幹事・会長エレクト・担当委員の方にはよく読んでいただきたいと思います。思っております。

地区補助金は比較的小規模で、短期間のプロジェクトを支援しております。地元や海外で今すぐ必要とされる支援に取り組むのが地区補助金でございます。碧南 RC は 2023-24 年度の地区補助金申請可能額は 2,145 ドルでございますので、素晴らしい事業を構築していただけるんじゃないかと思っております。

グローバル補助金は長期的で持続可能な影響をもたらす、予算が 30,000 ドル以上、海外のクラブと協力、地元地域の人々が特定した重要なニーズに取り組むという条件がございます。また、7つの重点分野に則した事業でなければなりません。是非、皆様方の中に海外でお付き合いのあるクラブがございましたら、海外のニーズに応えるような事業を計画していただきたいと思えます。

3つ目は奨学生紹介のお願いでございます。ロータリーで奨学生と言いますと、米山奨学生を思い浮かべられるかと思えますけれども、実はロータリー財団にも 2つの奨学生のシステムがございます。

1つ目は平和フェローシップでございます。世界中の 8つの大学の中にロータリー平和センターというのが作られておりまして、世界平和と紛争予防の担い手を育てて、平和推進者の世界的ネットワークを築いております。世界中の多くの応募者の中から毎年 130名が平和構築の為に大変高度な勉強や研究をしております。

2つ目はグローバル補助金奨学生でございます。こちらは 7つの重点分野に該当する専攻過程を海外の大学院で勉強する方に限られております。ですから、海外の大学に行けるといいう入学許可証を持っている方に応募していただくという形になっております。

是非、平和フェローシップ、グローバル補助金奨学生に相応しい方がいらっしゃいましたら、ロータリー財団の方にご紹介をいただきたいと思えます。よろしくお願い致します。

4つ目はロータリーカード入会のお願いでございます。資料によりますと、碧南 RC は 3名の方がロータリーカードを持ってくださっております。このカードは夢のようなカードで、使っただけで利用額の 0.3%がポリオプラスの寄付になります。また、クラブや地区で持てるカードがございまして、碧南 RC は作ってくださっております。こちらに使っていただきますと、かなりの額の寄付に繋がります。是非、マスターカードを全員の方に作っていただいて、使っていただきたいと思えますので、よろしくお願い致します。

本日は4つのお願いというふうにまとめてロータリー財団のお話をさせていただきました。大変貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございました。皆様、ロータリー財団はややこしいというイメージを払拭していただきまして、地域社会、世界でよいことをする為にこれからも深いご理解をいただきますよう、よろしくお願い致します。そして、ロータリー財団を活用して、よい奉仕事業を組み立てていただきたいというふうに考えております。どうぞ今後ともご理解ご協力をお願い申し上げまして、本日の卓話とさせていただきます。

ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内

令和4年11月23日（水）は法定休日のため休会

令和4年11月30日（水）

卓話「碧南の農業と女性の活躍」

碧南市経済環境部農業水産課 課長 牧 勝彦氏、
農村生活アドバイザー 8名